

第四回意見交換会 議事録

平成 17 年 9 月 17 日 14:30 ~ 16:30

会場 前橋総合福祉会館 3階4号会議室

参加者 17 名

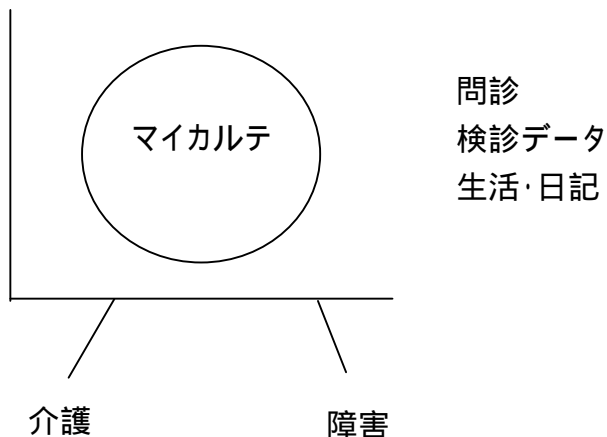
1. タイ訪問報告

- ・ タイ国との病診連携の取組み(群馬大学と連携)

2. 大島先生(老テク研究会 代表)

- ・ 介護について、施設およびヘルパーとの連絡帳を使用している。3箇所の施設を利用しており、情報をいかに共有するか。
- ・ モチベーションのための評価が必要である。
- ・ 家と施設とで「ほめる」ということも必要である。
- ・ デジタル動画で共有する(フォーマを使って、ふる里の画像を見せる)

3. マイカルテについて



共有の項目について

【重度障害者】

- ・ 自分で症状を言えない。一人に対して複数の支援者がいるので、記録をとっておかないと駄目である
- ・ 日々の日記もあるし、病気に対しても、日常(体温・血圧・体重・薬)についても
- ・ 病院でもらった検査結果をまとめておくこと

【デイサービス】

- ・ 体温・脈・血圧を記録している
- ・ 他の事業所との連携がうまくいかない 自宅とケアマネージャーに任せている
- ・ 海外(ドイツ)では、子供に頼らず自立している
- ・ 介護人の説明

【その他】

- ・ 医療者は画像の変化を見ることによって判断が出来る
- ・ 言葉だけではなく、ムービーも一ヶ月に1度くらい入れておく
- ・ 色々な表現方法があるのではないかな
- ・ ホームページを無料で作られるのがあるので利用してはどうか

自分のリハビリプログラムを、自分の画像を使って作ることで、色々な面があるのではないかな

ケアセンターでは対応できないのではないかな 誰がやるのか？費用は？

自分のデータに、自分で責任を持つ 自己責任

カルテは誰のものかな 医療機関 でも、情報は患者のものである

自分の健康に責任を持つ！